

令和4年度第1回静岡県国民健康保険運営協議会における主な意見と対応

No.	項目	発言者	意見（要約）	評価書 （案） 該当箇所	対応
1	保険料水準の統一に向けた取組	長野委員	課題も多く、時間がかかることは承知しているが、国保の安定運営と被保険者の公平性のために少しでも早い実現に向けて努力してほしい。	P6	国が発出予定の「保険料水準統一加速化プラン（仮称）」に基づき、令和5年度の運営方針改定と併せて、市町との協議を行い、保険料水準統一の取組を加速する。【評価書に反映】
2	収納対策の取組	富永委員	保険者規模別の収納率目標について、達成している目標値は変更するなど、柔軟な対応をお願いしたい。	P8	令和5年度の運営方針改定において、効果的な収納対策とともに収納率目標の設定について、市町と協議していく。【評価書に反映】
3	特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率の向上	鈴木悦子委員	受診率等の向上について、受診促進や習慣付けの周知を高校生など受診の必要のない若い世代へ行うことが重要である。	P25	令和5年度の国保ヘルスアップ支援事業において、若い世代に向けた特定健診受診等の必要性を啓発・広報していく。【評価書に反映】
4	糖尿病性腎症重症化予防の取組	吉野委員	県歯科医師会では、医科・歯科連携により、糖尿病と歯周病との関連について取り組んでいる。	P33	歯科保健医療提供体制分析・活用事業で、医科・歯科関係者等の有識者によるワーキンググループを開催し、歯科保健医療提供体制における検討課題を協議した。 現在、静岡社会健康医学大学院大学に委託し、データの分析を実施しており、令和5年3月末に成果を報告予定である。
5	被保険者証	小野委員 山口委員	現在の評価指標は達成済みであるため、国が推進しているオンライン資格確認の導入に向けた指標に変更してはどうか。 マイナンバーカードの被保険者証利用においては、保険医療機関・薬局が得られる情報を充実させる必要がある。 マイナンバーカードの普及自体が十分でないと感じている。	P39	県と市町において可能な取組として、マイナンバーカードの普及と被保険者証利用登録率の向上に取り組んでいく。 運営方針の目標（指標）を「マイナンバーカードの被保険者証利用（マイナ保険証）登録率60%以上達成市町」に変更し、目標達成に向けて取り組んでいく。【評価書に反映】